

【取組内容】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

中原小が目指す児童像

- ・ 自己調整や自己選択をして、自ら学ぼうとする子
- ・ 仲間とともに新しい時代を進んでいける人間的魅力にあふれる子

に向けた実践

6 学年社会科「わたしたちの暮らしを支える政治」

一人一人が活躍するための手立て

① 個々の進度に合った学びの進め方

一人ひとりが活躍するためには、自分のペースで課題に向き合い、取り組んでいくことが必要だと考える。前年度、一時間に一つの課題について、自分なりに情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行ってきた。キーワードを構造化したり、自分の言葉でまとめたりすることには十分慣れてきたので、今年度はそれをベースに、単元の課題に対して、数時間の中で自分のペースで進めていく複線型の学習を行う。単元全体を自分で進めるには難しい部分も多いので、各時間に課題を一つ取り上げるが、決まった課題に対して進みが早い児童は単元目標に沿って自分なりに課題を立て深めていってもよいことにする。

また、児童自身が自分の学習の進みを把握するために、スプレッドシートによる自己調整シートを活用していく。自己調整シートにはいつでも他者参照・途中参照ができるように、個々の成果物のリンクも貼っていく。各々友だちのものを参考にしたり、必要に応じて話し合ったりできるよう、学習形態も自分で選んでいけるよう声をかけていく。

タイトル

わたしたちの暮らしを支える政治①(全5時間)

課題の詳細(省略可)

【課題の設定】

人々の願いをかなえるために、政治はどのようなたらきをしているのだろう。(全5時間)

- ★① 子育てをしている人を支えるために、どのような取り組みが行われているのだろう。(p38.39)
- ★② 住民の願いはどのようにして実現するのだろう。(p40.41)
- ★③ 政治は私たちの暮らしをどのように支えているのだろう。(P42.43)
- ★④ 人口減少の課題を解決するためにどのような取り組みが行われているのだろう。(P44.45)
- ⑤ +my 学習課題!

【情報の収集】

- ・ まずは教科書から!
- ・ 資料集、動画、本やインターネットで補足を。

【整理・分析】

- ・ 情報を構造化していく。
- ・ 気付いたこと・考えなどを書く。

【まとめ・表現】

人々の願いをかなえるために、政治はどのようなたらきをしているのかをまとめていく。

- ・ 今日のテーマについて1文程度でアウトプット。
- ・ 自己調整シートの記入。

B I U ≡ ✕

自己調整シート「わたしたちの暮らしと政治」

Google スプレッドシート

生徒がファイルを編集できる ✕

本単元における学習サイクルの具体

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

座間市立中原小学校

【取組内容】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実。

②まとめ方の選択

本単元では、まとめ方を個々に選ばせる。ジャムボード、スライド、ドキュメント、ノートの中から自分なりに選択できるように、学習計画を立てる際に単元の見通しを持てるよう助言していく。課題や目的に応じて自分に最適なものを選ぶようになるために、自分で選んで取り組むことを何度も経験し、試行錯誤してほしいと考える。

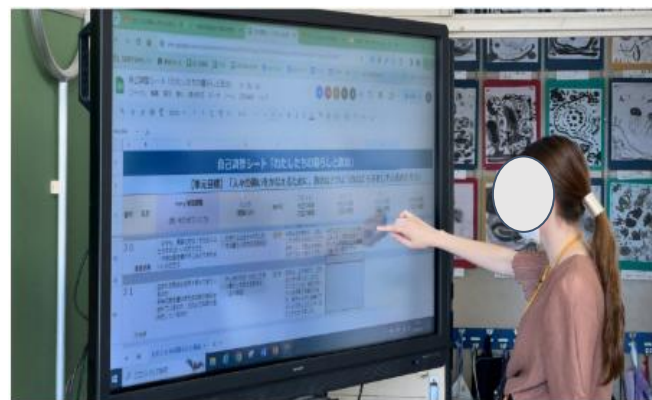
本単元のふりかえり

本単元をとおして、子どもたちは、個々の興味・関心・意欲等をふまえ主体的に学習に取り組むことができた。自ら設定した課題を解決するために、必要に応じて、周囲の友だちにアドバイスを求めたり、スプレッドシートによる自己調整シートを参照したりしながら他者と協働しながら学ぶことができた。

子どもたちは、授業中、誰一人として無気力に過ごしているものがおらず、一人一人が活躍することができたと考えている。



まとめるとき、学習課題を考えるとときに児童が見るヒントカード



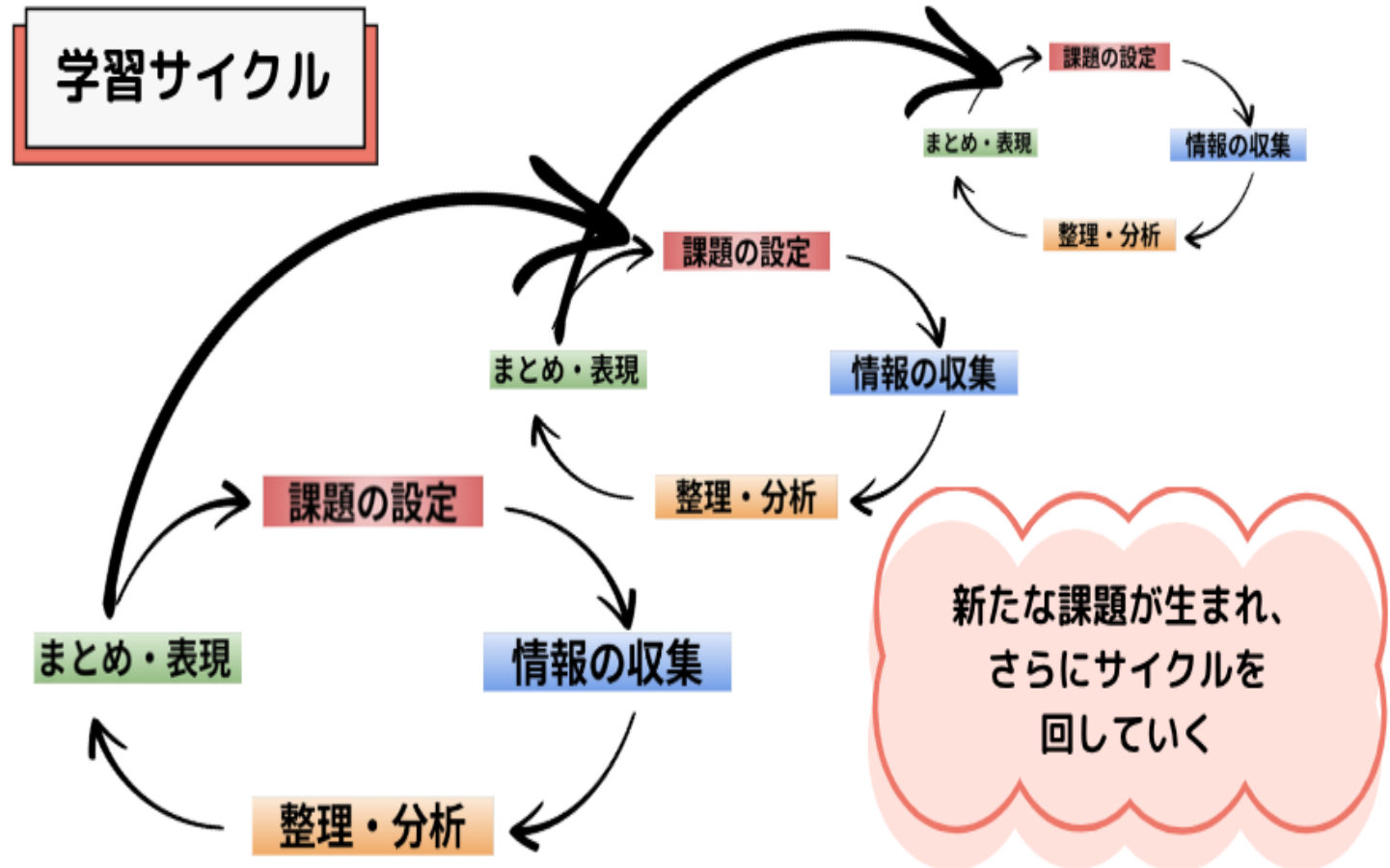
自己調整シートを参考に友だちの良い取組を共有

【取組内容】 「学習サイクル」を通した情報活用能力の育成

本校が考える情報活用
能力とは

右表にあるとおり
「課題の設定」
「情報の収集」
「情報の整理・分析」
「まとめ・振り返り」
といった『学習サイクル』
を意識しながら学
習を進めることで基礎
的な情報活用能力が育
成できるものと考えた。

『学習サイクル』は一
つの課題の解決に向け
てサイクルを回してい
る最中に生まれる
“新たな課題”を取り込
みながら、さらに何度
もサイクルを回してい
き、単元を通してスパ
イラルな学びになっ
ていくことが望ましいと
考えた。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

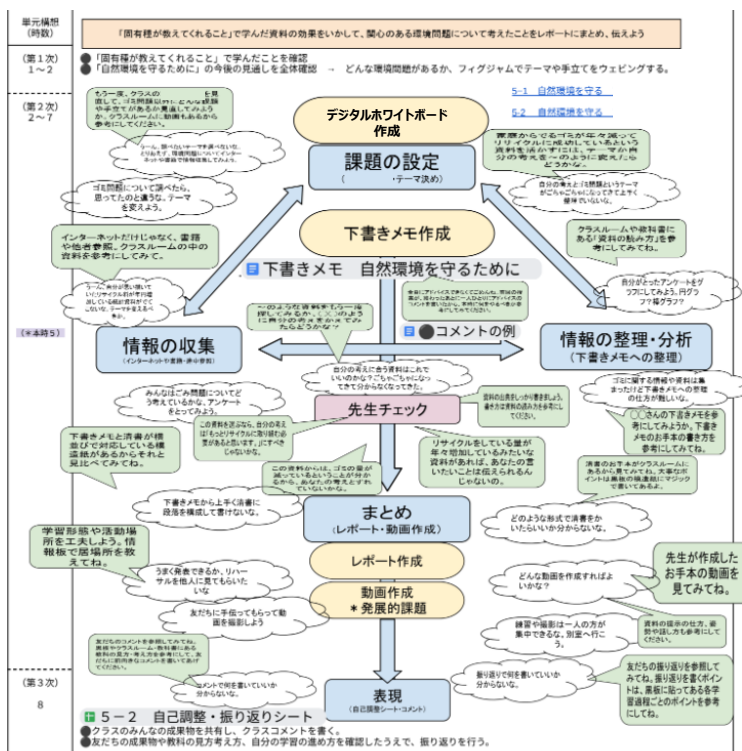
座間市立中原小学校

【取組内容】 「学習サイクル」を通じた情報活用能力の育成

5年国語科「自然環境を守る」

この単元では、一人ひとりの興味や能力、ペースに合わせた、自由進度学習をベースに進めてみた。

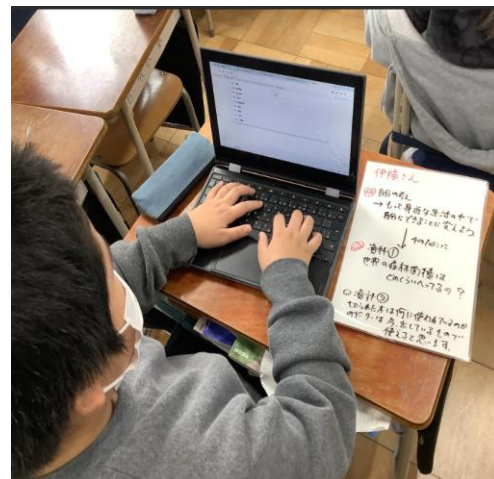
黒板に単元の見通しを表した次のようなフローチャートを貼っておき、見通しをもちながら自分のペースで学習を進められるようにした。デジタルホワイトボードソフトを用いて、「自然環境を守る」ためのテーマや手立てを、自分と他者を比べて見ることで、自分の興味にあったテーマ・学習の進捗が早く、内容が充実している児童には、さらなる発展的課題（動画作成）を追求させていこうと考えた。



担任は、自己調整シートから児童の実態を把握

他者参照をしながら自分に必要な情報を入手

課題を解決するための情報を個で整理分析



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

座間市立中原小学校

【取組内容】 チャットの活用（校務DX）

本校では「会議が多い」や「教材研究の時間が少ない」、「学校の作りが複雑なため、情報の伝達や共有が困難」などの課題があった。

そのため職員が時間的余裕を持ち、情報の伝達、共有を容易に行えるようにチャットの活用を行った。

各学年、各グループなどで情報の交換や資料の共有が必要な場合、積極的にチャットを活用することで、端末があれば、どこでも確認することができ、必要な情報を必要な時に手にいれることができた。そのため、今までより迅速に情報伝達を行うこともできるようになった。

また、必要な情報をチャットにて伝えることで打ち合わせの回数や時間削減にも繋がり、朝や放課後の職員の時間抽出にも繋がった。

月 8:06 ・ 編集済み

マ

【打ち合わせ（教務から）】

- ①保護者会・PTAあしすと隊決めについて
保護者会の最後に、「例年ですとこの後PTAあしすと隊決めを行っていましたが、今年度は行いません。今年度から書面のみとなります。選んだ項目で決定する運びのようです。まだの方は、この後、入口付近にありますプリントにご記名ください。」とお伝えください。
- ②あゆみ・要録各所見について
2月17日（月）から受け付けを開始します。
- ③25日（火）ロングタイム・CS昔遊びは2年生です。

11

月 8:36 ・ 編集済み

マ

【3年・音楽担当から】

- 13日（木）3時間目から5時間目に楽器を使用します。使用するのは、大太鼓（3つ）・小太鼓（3つ）・グロッケン・木琴・ウッドブロック・カウベルです。何かある場合は相談ください。よろしくお願いします。

限定公開

チャット

共有中

ToDo リスト

シヨ

【国際 2年生 算数はこの形をしらべよう】

学習用語として、「直線・頂点・辺・四角形・正方形・長方形・面」を学習しながら、部位の名称と辺や面の数を、具体物に触りながら数えていきました。
写真は数えながらマジックで線を引き、数えたことを確認するために書きました。

名称がごちゃごちゃになっている場面が多々あり、その都度訂正させながら呼称したり数えたりして四角い箱の特徴を捉えていきました。
正方形の箱がないため、あると便利でした。

3 1

金 15:13

シヨ



【取組内容】 ドキュメントにより指導案の白紙検討（校務DX）

校内研での指導案をほぼ白紙の状態から共有し、共同編集によって進めていった。

授業者や該当学年以外にも共有し、多くの教員が授業についてコメントをしたり、修正箇所にもマーキングをして改善案を提示したりと指導案が創られていく過程を共有を行った。

他の学年の目から見て気づいたことや経験のある同僚からの意見やアイデアがリアルタイムに指導案に反映されるようになった。

そのため、指導案検討会の時間なども大幅に削減することができ、校務の改善にも繋がった。



12月16日, 17:41

【支援級指導案について】

まだ途中ですが、支援級の指導案です。よろしくお願いいたします。



返信 1 件 12月17日, 8:16

いいせなかったり、タイミングを逸したりして、その考えは、教師がつぶやきを聞き取って、授業の話題の中心に引き上げていかない限りこれまで埋もれがちになっていたのではなかろうか。そのつぶやきやボツと浮かび上がった、これまで埋もれがちになっていた考えを授業の中で視覚化、焦点化することで話し合いがより深まりのあるものになるのではないかと考える。そこで、これまでの話し合いの授業（表）を進めながら、同時に友だちの話を聴いて新たに浮かんだ考えがあるけど、「うまくまとまらないなあー」「恥ずかしくて話しにくい」「もうたくさん発言したから他の友だちに発言は譲るか」などの考えをジャムボード（裏）にどんどんまとめていきそれを同時に大型テレビに映し出していく。話し合い（表）とジャムボード（裏）でリアルタイムに授業が進行しながら、教師がジャムボード（裏）の意見を時に取り上げ、話し合い（表）に引き上げ、焦点化していくことで、話し合いにおける個別最適化の学習につながり、一人ひとりの授業への満足感や達成感も向上するのではないかと考える。

4 本時

(1) 目標 「なぜ、太一は瀬の主をもらって打とうとしなかったか」について伝え合い、自分の考えを深める。

(2) 展開

学習活動	参観ポイント
○前時までの振り返りを行う。 ○本時のめあてと発問を確認する。	
なぜ、太一は瀬の主をもらって打とうとしなかったのか？	
○主発問についてお互いの考えを伝え合う ○話し合いを聞きながら、自分の考えをリアルタイムにジャムボードにまとめていく * 教師がジャムボードの内容を必要に応じて話し合いに引き上げ、焦点化していく	(どの時間にきいても大丈夫です) ←見てほしい！ 《話し合い（表）とジャムボード（裏）の相互交流



2023/01/16

実際の授業で表と裏の塩梅がどうなるのか、非常に気になります。
新しい試み、とても関心があります!!



2023/01/16

新しい使い方がしますね。



2023/01/16

主発問についての話し合いでたくさん
の意見交換で盛り上がると学習が
楽しくなってきますよね。楽しみで
す。